

令和 2年度 施策評価シート（令和元年度実績評価）

政策 01 安全・安心に暮らせるまち

施策 04 消防・救急の充実

主管課： 交通防災課

関係課：

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか） 市民	意図（どのような状態にしたいのか） 市民の生命・身体・財産が守られるまちをつくります。
------------------------	--

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

火災発生件数（年間）					(件)	交通防災課
基準値 (H26)	H30年度	R01年度	R02年度		目標値 (R03)	
10.00	14.00	19.00	10.00		8.00	
向上指針	下がると良い	(状況) 基準値に比べ9件、昨年より5件増加している（建物13件、その他6件合計19件）が、内容的には野焼きなどによるぼやの火災が増えています。 (原因) 野焼きやたばこの不始末、コンセントタップのたこ足配線など、ちょっとした気のゆるみや勘違いによる火災が増えたと考えます（火災発生件数の抑制は、消防署を中心とした市民活動が主であり、市の課題とすることは難しい）。				
対前年度	低下					
目標達成度	低					
次年度課題	課題とする					

火災による死傷者数（年間）					(人)	交通防災課
基準値 (H26)	H30年度	R01年度	R02年度		目標値 (R03)	
3.00	0.00	0.00	1.00		0.00	
向上指針	下がると良い	(状況) 死傷者はいませんでした。 (原因) 火災発生時の避難及び初期消火ができたことによると考えます（火災による死傷者数の抑制は、消防署を中心とした市民活動が主であり、市の課題とすることは難しい）。				
対前年度	維持					
目標達成度	達成					
次年度課題	課題としない					

市の救急体制が整っていると思う市民の割合					(%)	交通防災課
基準値 (H26)	H30年度	R01年度	R02年度		目標値 (R03)	
77.30	76.40	77.20	79.00		80.00	
向上指針	上がると良い	(状況) 基準値と比べると0.1ポイント減少していますが、前年度と比べると0.8ポイント増加し、おおよそ8割近くの市民が救急体制については満足しています。 (原因) 車両・設備の維持管理とけが人等への的確な処置の訓練を継続して行い、迅速な救急出場と病院搬送に努めていることが原因と考えます。しかし、「そう思わない」等の割合もおおよそ2割おり、消防署の救急体制の充実を継続的に働きかけていく必要があります（救急体制の充実は、消防署による対応のため、市の課題とすることは難しい）。				
対前年度	向上					
目標達成度	低					
次年度課題	課題とする					

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度
	決算	決算	決算	予算	見込
事業費合計	946,118	994,299	1,001,241	1,109,608	1,151,672
人件費	6,187	9,760	11,336	0	0
トータルコスト	952,305	1,004,059	1,012,577	1,109,608	1,151,672

4 基本事業の状況

基本事業名称	成果指標の動向					事業費				
						H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度
01 消防体制の強化	低下	横ば				10,829	34,985	19,163	67,394	108,944
02 救命・救急体制の充実	低下					900,304	923,003	952,010	1,004,486	1,005,000
03 市民による防火対策の充実	低下	低下				34,985	36,311	30,068	37,728	37,728

5 施策全体の取組状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

消防署や消防団と連携した啓発活動により、市民の防火意識の向上を図り、自ら防火対策に取り組む市民の増加に努めました。しかしながら、年間火災発生件数は、増えてしまったため、引き続き、夜警や火災予防パレード、駅前でのチラシ配布、ホームページへの掲載などの啓発を進めていきます。	推進状況	一部停滞あり
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持

当該年度の全庁決定の方向性（前年度の全庁政策会議での決定事項）

消防署では車両の適切な維持管理を行い緊急時の出動に備えるとともに、地域の火災予防啓発にも取り組んでいます。また、消防団では市民の防火意識に向上と火災の発生率を減少させるため、地域の防災訓練への参加や夜警の実施、火災予防パレードの啓発活動を継続します。また、消防団事務を消防署から市に移管するとともに、消防団の適正な配置を検討し、消防車両機械器具置場の計画的な建て替えを進めていきます（消防・救急の充実は、主に消防署による対応のため、市の課題とするには難しいものがあると考えます）。	成果方向性	向上
	コスト方向性	増加

次年度の方向性

消防署では、消防車両・救急車両の適切な維持管理を行うと共に、緊急時の訓練を実施し、出動に備えます。消防団では市民の防火意識の向上と火災の発生率を減少させるため、夜警の実施や火災予防パレードの啓発活動を継続して実施し、市民の生命・身体・財産が守られるよう努めていきます。	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持